

【全国学力・学習状況調査結果（教科）】

	自校	尾道市	広島県	全国
国語	69		70	69.8
数学	46		49	51.0
英語	43		43	45.6

【市学力検査（対全国比 %）】

	1年生	2年生
国語	+1.9	+0.9
数学	+2.7	-1.2

【全国学力・学習状況調査結果（質問紙調査）『当てはまる』+『どちらかといえば、当てはまる』の%】

質問番号	質問事項	自校	尾道市	広島県	全国
36	1、2年生のときに受けた授業では、自分で考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。	53.9		57.3	62.1
37	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	73.1		79.7	79.2
38	1、2年生のときに受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	55.1		70.5	69.1

【課題】

【1年生】

- ・漢字の書き取りや、インタビューの内容を聞き取るなどの問題に課題がみられた。（国語）
- ・整数の性質，単位量あたりの大きさ，いろいろなグラフの読み取りなどの問題に課題がみられた。（数学）

【2年生】

- ・漢字の読み・文法事項→漢字の読み書きの定着不足，文法事項の繰り返しができている。（国語）
- ・活用問題に全体的に課題がみられる。（数学）

【3年生】

- ・記述式の無解答率が目立つ。（国語）
- ・各領域の知識が定着しておらず，説明することに課題がある。（数学）



【めざす姿】

向島中学校区でのめざす子どもの姿を

- 志高く挑戦し続ける生徒
- 多様性を尊重し，かかわり合える生徒
- 失敗を恐れぬ元気さをもつ生徒
- 新しい発見から学びを深められる生徒

と設定している。

その中で育成したい資質能力は「主体性」「表現力」と設定しており，問いや表現の工夫や生徒指導の3機能を意識した授業改善を通して，学力の向上をめざす。評価指標としては「1月実施の標準学力調査の活用問題での全国平均+5%以上」「4月・1月実施の標準学力調査で各教科の正答率の伸び率+3%」と据えている。

- ・文章の構成やおおまかな内容を捉えるのが苦手だと考えられる。(英語)

【これまでの授業の課題】

- 1回1回の授業でねらいに対して個別の問いを設定し、授業を組み立てていくことは授業研究を通して改善が見られたが、単元を貫く問いや本質的な問いを意識して授業を構成することに課題があった。
- 生徒が主体となる活動が以前と比べて増えたが、その活動が本時のねらいや問いに対して適切であるかどうかという点に課題があった。
- 家庭学習の習慣化に課題があり、基礎学力の定着が不十分であった。
- 活用問題や入試問題等を解く際、解き直しや分析等の時間を十分確保することが難しく、解きっぱなしになってしまうことがあった。



【今後の授業の具体】

【1年生】

- ・eライブラリを活用して、授業の導入の際に帯活動として取り組む。
- ・学習リーダーを設定し、生徒が活躍できる授業づくりを進めていく。

【2年生】

- ・提出物等、当たり前のことを当たり前させる粘り強い取り組みを継続させ、学力向上に取り組む。
- ・授業以外の行事や生徒同士の関わりの中で、振り返りの場を充実させ、自己肯定感や学習意欲の向上をめざす。

【3年生】

- ・入試問題に慣れさせるために、eライブラリ等を活用し、チャレンジ問題や入試の過去問に取り組む。放課後に班ごとに教え合い学習として取り組む。
- ・知識・技能のさらなる定着に向けて帯活動を充実させていく。